



ハイレスポンスマフラー Ver. R MS153-18004

'10.04 施行・後付マフラーに関する新騒音規制対応商品 取付取扱説明書

この度はTRDハイレスポンスマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なって下さい。

■品番・適合

品 番	適 合	型 式	エンジン	年 式	備 考
MS153-18004	86	ZN6	FA20	'16.07～	マイナーチェンジ以降

■構成部品

	部 品 名	数 量	備 考
①	テールパイプマフラー	1	
②	ガasket	1	
③	ナット	2	マフラーフランジ締結用 M10×1.25
④	取付・取扱説明書(本書)	1	本書は大切に保管して下さい。

- ・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>
- ・開封時に必ず構成部品が揃っていること、及び、外観にキズ、凹み等が無いことを確認してください。
取付け後の不具合が判明しましても対応しかねる場合がございます。
- ・マフラーの取付けにはリヤバンパーの一部削除が必要になります。
別売のリアバンパースポイラー(MS313-18001/2)又は、マフラーガーニッシュ(MS313-18003)の同時装着が必須になります。取付けの際はスポイラー及び、ガーニッシュの取付けを先に行ってください。
- ・構成部品②③は再使用不可部品になります。補給部品は、該当車両の純正部品をご使用ください。

⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

⚠ 注意

この内容に従わず、誤った取付取扱を行うと人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

■取付け上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承ください。
- (2) 保安基準適合の為、純正部品と同様に触媒やシールド等を取外さず必ず、適合車種に取付けてください。

- ⚠ 警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**を確保してください。
(灯火類の地上高についても確認を実施してください。)
- ⚠ 警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行ってください。
- ⚠ 警告 (3) 本商品の分解・加工は絶対にしないでください。破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 警告 (4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないでください。破損や故障の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意 (1) 本商品の取付け・交換作業は、必ずトヨタ販売店で行ってください。
- ⚠ 注意 (2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
- ⚠ 注意 (3) 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行ってください。火傷や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意 (4) 取付け後は換気の良い所でエンジンを始動し、排気漏れや干渉が無い事を必ず確認してください。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- ⚠ 警告（１）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高 90 mm**を確保してください。
（灯火類の地上高に付きましても確認を実施してください）
- ⚠ 警告（２）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず、
現車にて**最低地上高 90 mm**の確保を行ってください。
- ⚠ 注意（１）取付け直後の走行時、多少の異臭発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない
場合は取付けの工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、破損や事故の
原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（２）本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまでは
安全な速度で十分注意して走行してください。事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（３）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないでください。火災や事故の
原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（４）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、お取付け
のトヨタ販売店に連絡をして指示を受けてください。そのまま走行を続けると破損や事故の
原因となる場合があります。
- ⚠ 注意（５）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は、速やかに洗浄を行ってください。
附着したままでご使用になられますとマフラーの変色や錆の原因となります。
- ⚠ 注意（６）通常の使用過程に於いても排気管出口（テール出口部）は冷熱の繰返しにより、色味に変化が
現れる場合がありますが、異常ではございません。
- ⚠ 注意（７）走行直後のマフラーは非常に高温となっております。触れると火傷の恐れがあります。
荷物の出入れやお子様の接近等、十分に注意してください。

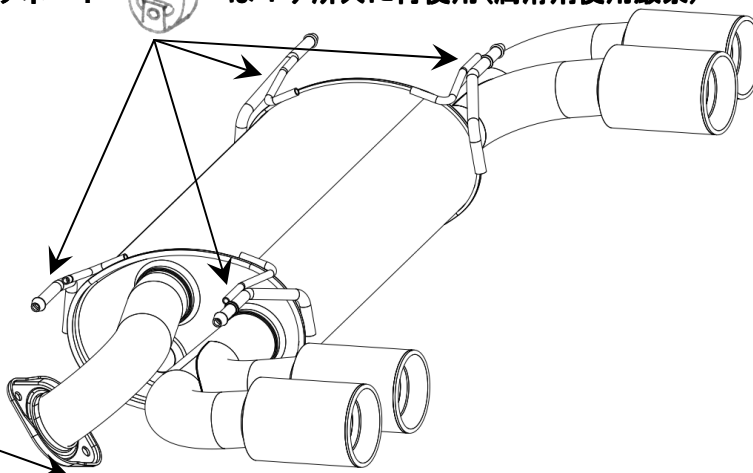
構成図

（作業注意事項）

サポート取付時、マフラー側・車両側共に潤滑剤は使用しないで下さい。
外す際に潤滑剤を使用した時は、きれいに清掃・脱脂した後に取付けて下さい。

マフラーサポート  は４ヶ所共に再使用（潤滑剤使用厳禁）

ガスケット・ナットは
同梱品の②③に交換
取付ボルト再使用



■仕様

エキゾーストパイプ：パイプ部 φ 60. 5（SUS）
出口テール：テール部 φ 89. 1（SUS）

■取付要領

(1) 純正のテールパイプを修理書トヨタ自動車(株) 発行) に従って取外す。

⚠ 注意：車両側パイプと純正テールパイプとの締結ボルト、サポートゴムは再使用します。
ガスケット・ナットは同梱品②③に交換して下さい。

(2) 別売りのリヤバンパースポイラー又は、マフラーガーニッシュに同梱の型紙に合わせバンパーの左右をエアソー等でカットし、リアバンパースポイラー又は、ガーニッシュを取付ける。

(3) 構成品①のテールパイプA S S Yを車両側のパイプに取付け、サポートゴムを架け保持する。

⚠ 注意：車両側パイプとの締結は、仮締めとして下さい。

⚠ 警告

本車両のマフラーサポートブラケットはマフラー本体、車両側ブラケット共に車両進行方向に対し横向きで設置されています。そのためマフラーの取外し・取付けの際に潤滑剤を使用した場合、サポートゴムに潤滑剤が残ったまま取付けると、走行時に横方向の強い力が加わった場合などに、リヤバンパーや周辺部に干渉する可能性があります。サポートゴム取付けの際に潤滑剤の使用はお止め下さい。

(4) 左右のテールパイプ出口位置(リヤバンパースポイラー又は、マフラーガーニッシュと干渉せず、極端な偏り無き事)を確認し、車両側パイプとの締結ボルトを **48Nm** で締付ける。

(5) 装着後、走行する前にアイドリング状態で15分程の暖機運転を行った後、5Km程の通常走行を実施し、各部のボルトに緩みの無い事、テール部の位置に変化の無い事を確認する。

⚠ 警告：取付完了後、マフラーを左右に数回動かしサポートゴムに横ずれが生じない事を確認して下さい。

■取付け後の確認

・装着後は、定期的(定期点検時等)に取付け部に緩みなどが無いことを点検してください。

8 6 用 T R D マフラー取付け注意事項

車両のマフラーサポート及びブラケットは、車両進行方向に対し共に横向きに設置されています。

そのためマフラーの取外しの際に、潤滑剤を使用した場合サポートゴムに潤滑剤の残りがあると、走行時に横方向の強い力が加わった場合に、リヤバンパーや周辺部に干渉する可能性があります。

サポートゴムの取付けの際は、サポートゴム及びブラケット共に十分に清掃を行い、潤滑剤の使用はお止め下さい。

取付け完了後、マフラーを左右に数回動かしサポートゴムが横ズレしないこと、各部に干渉がないことを確認して下さい。

サポートゴム&ブラケット共に潤滑剤の使用厳禁

